



東近江市民クラブ
田井中 文三



東近江市民クラブ
忠魂碑・忠靈碑の管理は



議会だより 08

Q 大同川水系は五個荘から能登川にかけて流れ、最終琵琶湖に流出する範囲の一級河川で、その中流域にある伊庭内湖や伊庭の集落などは、日本遺産や重要文化的景観に認定・選定されている。また大中・中小・能登川1400ヘクタール超の農地の水源でもある。その源は鈴鹿の山々からの伏流水など大半を地下水が占めているが、さまざまの要因により水草の大量繁茂や土砂が堆積していた。国民スポーツ大会を前に整備されたが、①伊庭内湖での3年間の水草除去と浚渫の成果と費用は。

②伊庭内湖の上流下流の河川に今も大量の水草が繁茂しているが、その除去対策は。③来年度予算編成に向けての政策提案で知事に要望した状況は。

A ①除去面積は伊庭内湖全域52ヘクタールで、水草約750トン、浚渫土砂700立方メートル、総費用は約4億5千万円です。



水草が大量繁茂する上流部。
奥は綺麗になった伊庭内湖

②県が事務局の琵琶湖外来生物対策協議会で、特定外来生物の駆除作業を実施しており、上下流河川もその対象範囲で、今後も確実に行うよう県に強く要望していきます。

③「美しい伊庭内湖を守り続ける取り組み」と題し、市の最重要項目として知事に直接要望しました。県からは「希少な植物も生育しており、大会終了後も市と連携し対策を継続していくたい」とのことでした。

Q 忠魂碑・忠靈碑について、
①この国の平和と繁栄を命を懸けて守っていた英靈に対して受け止め、感謝を捧げつつ後世に引き継ぐべき問題と考えるが見解は。

②学校の敷地内にある場合などは、子どもたちにその歴史や謂われを教える機会はあるのか。また、最も身近で大切な平和教育の遺産だと考えるが見解は。

①今この国の平和と繁栄を享受しているのは英靈おかげであり、忠魂碑・忠靈碑は郷土を守るために建立され、その鎮魂のために建立されたものです。遺族だけのものではなく、今生きる人として、皆で考えて後世に引き継いでいく必要があると考えます。

A ①これまでの官民連携の取り組みと成果は。②これまでの取り組みの成果を受け、どのように第3期計画を策定するのか。

管理についても、高齢化により手入れも大変だと認識しています。今後も、遺族会と協議を

続けていきます。
②忠魂碑での平和学習は行われていませんが、児童の目にふれることで興味をもち、戦争を身近なものとして考えるきっかけになっています。

忠魂碑をはじめ布引丘陵の掩体壕などは身近な戦争遺跡として、より深く平和について学ぶことができ、意義深いものと考えます。



東近江市民クラブ
西澤 由男



東近江市民クラブ
忠魂碑・忠靈碑の管理は



議会だより 09



東近江市民クラブ
スポーツ施設の修繕計画は



Q 五個荘体育館について、原因①雨漏りの修繕や中央仕切りネットの交換の計画は。②ワールダウンする場所がないため、ロビーにエアコンを設置できないか。

A ①雨漏りについては、原因を調査して必要な修繕に向けて取り組むこととしており、緊急度の高い女子トイレ上部の雨漏りは修繕の発注をしています。中央仕切りネットの交換については、今後の更新と合わせて検討していきます。

②昨今の酷暑の現状からワールダウンができるスペースの必要性は認識しており、対策について検討していきます。

Q 避難行動要支援者の個別避難計画について、
①作成の進捗状況は。
②これまで行ってきた支援内容は。

A ①登録している避難行動要支援者に対して作成することがあります。



五個荘体育館のロビー

努力義務となつております。本市においては、災害時に逃げ遅れる可能性の高い要介護者や重度障害者などで、より支援を必要とする方から計画の策定を進めています。

②インクラージョンマネージャーが自治会や地域住民などを計画作成に関わる人を集め、地域の実情や特性に応じた実効性の高い計画となるよう支援を行っています。

②中心市街地の活性化はまだ道半ばであり、今後もさらなるにぎわい創出を図っていく必要があります。第2期計画における実績や各施策の成果を精査し、中心市街地活性化協議会での協議を踏まえ計画を策定します。



東近江市民クラブ
中心市街地の活性化は



Q 第2期中心市街地活性化基本計画について、
①これまでの官民連携の取り組みと成果は。

②これまでの取り組みの成果を受け、どのように第3期計画を策定するのか。

①代表的なものは駅前に完成した観光交流施設、オフィス機能、分譲マンションを備えた複合ビルの整備です。市と商工会議所、民間企業が連携し、さまざまな機能を備えたビルがランドマークとなり、びわこリハビリテーション専門、職大学の開校、えいとてらすの開催など、さまざまな施策が相乗効果をもたらしていると考えます。



イベントで賑わう商店街

②中心市街地の活性化はまだ道半ばであり、今後もさらなるにぎわい創出を図っていく必要があります。第2期計画における実績や各施策の成果を精査し、中心市街地活性化協議会での協議を踏まえ計画を策定します。

